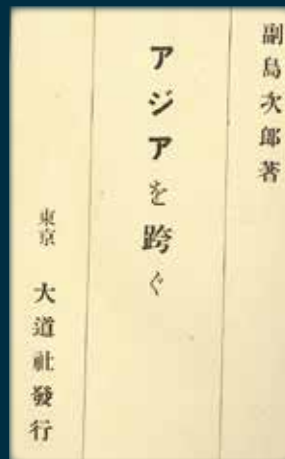
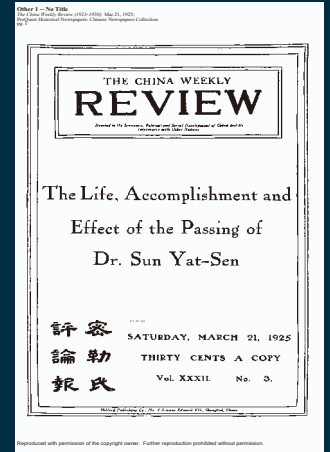


大阪大学比較文学会 シンポジウム



戦中戦後 東アジアの 文芸空間の 諸相をめぐって



2023年1月23日(月)

13:00 ~ 17:00

ハイブリット開催(対面・zoom)

対面参加は学内関係者のみ

聴講自由・事前申し込み不要

会場: 中庭会議室

zoom 情報:

ID 826 0695 8935

パスワード hibun

問い合わせ先:

比較文学研究室 内線 2168

2023年1月23日（月）13:00-17:00 中庭会議室

ID:826 0695 8935

パスワード：hibun

戦中戦後東アジアの文芸空間の諸相をめぐって

13:00-13:05 開会の辞

第一部

13:05-13:25 田中奈月「妹の言葉と戦略 ―尾崎翠後期作品を中心に―」

13:25-13:45 福島萌木「帝国日本の「西進」と中央アジア横断鉄道構想
―安西冬衛の中央アジア詩を中心に―」

13:45-14:05 山田志歩「日本占領下の台湾における登山
―ニイタカヤマノボレに至るまで―」

14:05-14:25 秦莉「在日中国人留学生と日本文壇
―『藍・BLUE』を例として―」

14:25-14:45 質疑応答

14:45-14:55 休憩

第二部

14:55-15:15 鈴木暁世「ナショナリズムとノスタルジー
―戦後日本における「ケルト」受容再考―」

15:15-15:25 質疑応答

15:25-15:45 橋本順光「英国エージェントの孫文面会記
―上海におけるH・P・シャストリの諜報と広報の活動―」

15:45-15:55 質疑応答

講演

15:55-16:40 大橋毅彦（関西学院大学教授）
「戦争下における〈美心〉の行方 ―版画家田川憲の上海での活動―」

16:40-16:55 質疑応答

16:55-17:00 閉会の辞

総合司会：堀之内美歩

主催：大阪大学大学院比較文学研究室

共催：JSPS 科研費（18K00314）